

保護者アンケート結果（令和8年9月実施分）

教育総務課学校適正規模・適正配置推進室

1 調査概要

1. 調査の目的

小中学校適正規模・適正配置に関する保護者の考え方や意見等を収集し、今後の検討や計画の内容に反映させるために実施するもの。

2. 調査期間

令和8年9月9日(水)～9月30日(水)

3. 調査方法

すぐーる(保護者等への連絡アプリ)経由で調査依頼を送付し、オンラインフォーム(LoGoフォーム)で回答

4. 調査対象

市内小中学校に通学する児童生徒の保護者

※すぐーる利用者(登録件数6,831件)

2 設問一覧

番号	設問	形式
問1	あなたのお子様が通っている学校名を選択してください	選択式 ※複数
問2	あなたのお子様の学年を選択してください	選択式 ※複数
問3	渋川市では「学校の適正規模・適正配置」は必要だと思いますか	選択式
問4	問3で回答した主な理由を教えてください	自由記述
問5	あなたのお子様が通う小学校の適正規模・適正配置は、いつ頃実施するのが良いと思いますか ※問2で小学校1～6年生のいずれかを選択し、かつ問3で1、2または5を選んだ人のみ	選択式
問6	あなたのお子様が通う中学校の適正規模・適正配置は、いつ頃実施するのが良いと思いますか ※問2で中学校1～3年生のいずれかを選択し、かつ問3で1、2または5を選んだ人のみ	選択式
問7	学校の適正規模・適正配置の検討を進めるに当たり、より考慮(配慮)して欲しいと思うものを選んでください。	選択式 ※3つまで
問8	学校の規模を適正な範囲に保つことを優先した場合、統廃合の方法によっては、従来イメージされることが多い「地域」(旧市町村区や学校区)から学校が無くなり、近隣の学校へ通学するようなケースも考えられます。このような形での適正規模・適正配置について、どのようにお考えですか。	選択式
問9	問8で回答した主な理由を教えてください	記述式
問10	今回お示したモデルのうち、あなたの考えに近いものはどれですか	選択式
問11	問10で回答した主な理由を教えてください	自由記述
問12	その他、小中学校の適正規模・適正配置について、ご意見やご要望があれば、ご記入ください	自由記述

3 調査結果

◆問1：あなたのお子様が通っている学校名を教えてください

①小学校

学校名	利用者数	回答者数	回答率
渋川北小学校	470	59	12.6%
渋川南小学校	195	31	15.9%
金島小学校	247	32	13.0%
古巻小学校	841	119	14.1%
豊秋小学校	584	81	13.9%
渋川西小学校	185	25	13.5%
伊香保小学校	66	12	18.2%
小野上小学校	45	3	6.7%
中郷小学校	311	46	14.8%
長尾小学校	410	50	12.2%
三原田小学校	305	52	17.0%
津久田小学校	160	37	23.1%
橘小学校	287	47	16.4%
橘北小学校	169	27	16.0%
その他			
合計	4,275	621	14.5%

②中学校

学校名	利用者数	回答者数	回答率
渋川中学校	459	64	13.9%
渋川北中学校	372	40	10.8%
金島中学校	173	15	8.7%
古巻中学校	441	51	11.6%
伊香保中学校	70	3	4.3%
子持中学校	467	51	10.9%
赤城南中学校	178	19	10.7%
赤城北中学校	101	14	13.9%
北橘中学校	295	49	16.6%
その他		1	
合計	2,556	307	12.0%

◆問2：あなたのお子様の学年を選択してください

①小学校

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
渋川北小学校	13	13	18	13	7	11	75
渋川南小学校	6	6	4	10	7	8	41
金島小学校	8	4	8	8	3	8	39
古巻小学校	28	36	24	23	24	17	152
豊秋小学校	27	20	14	16	11	16	104
渋川西小学校	6	5	6	2	3	7	29
伊香保小学校	3	1	3	2	1	3	13
小野上小学校		2	1				3
中郷小学校	13	9	9	7	6	10	54
長尾小学校	12	10	9	7	12	14	64
三原田小学校	12	7	11	11	13	16	70
津久田小学校	10	4	8	13	5	11	51
橘小学校	6	9	13	9	11	6	54
橘北小学校	4	3	6	7		10	30
その他							
計	148	129	134	128	103	137	779

※回答にきょうだいが含まれるため、問1の回答数と一致しない

②中学校

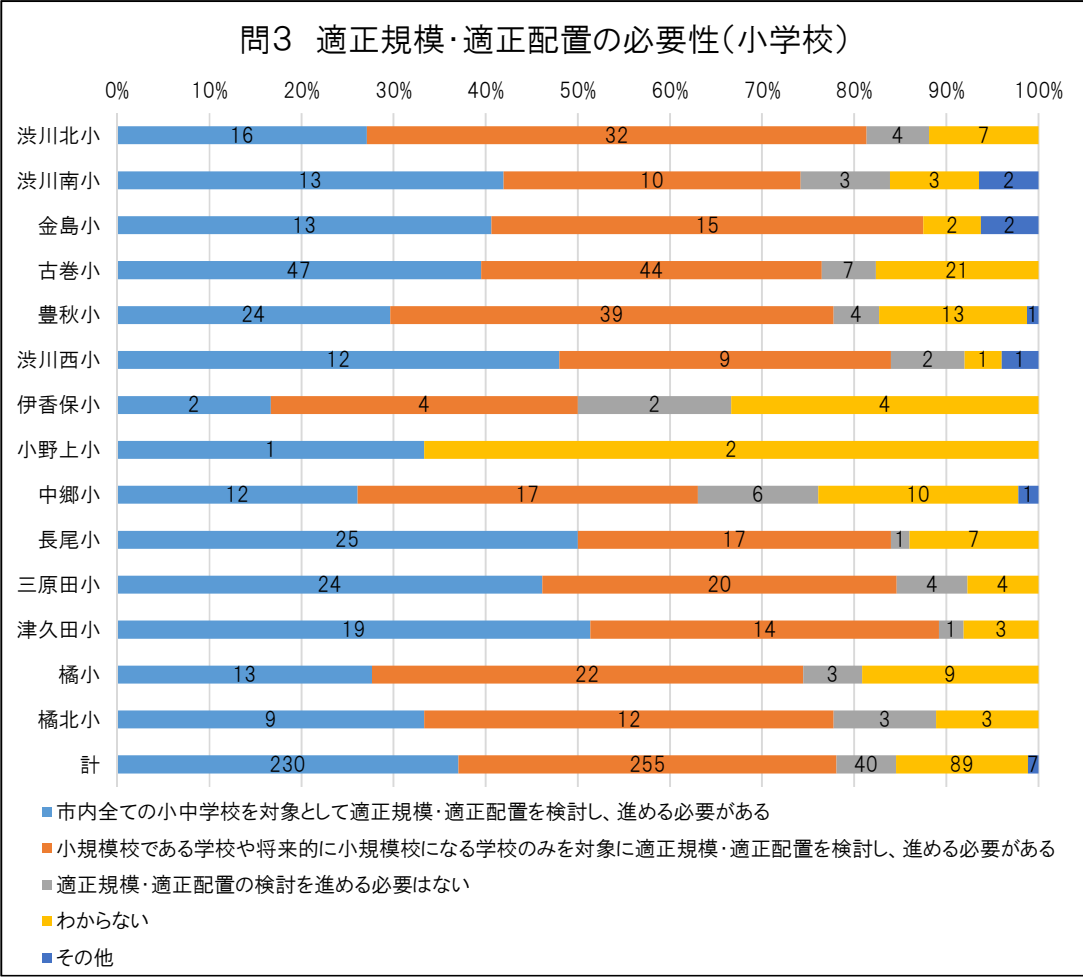
学校名	1年生	2年生	3年生	計
渋川中学校	32	16	18	66
渋川北中学校	12	16	19	47
金島中学校	1	5	9	15
古巻中学校	16	20	18	54
伊香保中学校		1	2	3
子持中学校	18	18	17	53
赤城南中学校	8	8	5	21
赤城北中学校	4	4	7	15
北橘中学校	19	19	15	53
その他		1		1
計	110	108	110	328

※回答にきょうだいが含まれるため、問1の回答数と一致しない

◆問3： 渋川市では「学校の適正規模・適正配置」は必要だと思いますか【1つを選択】

①小学校

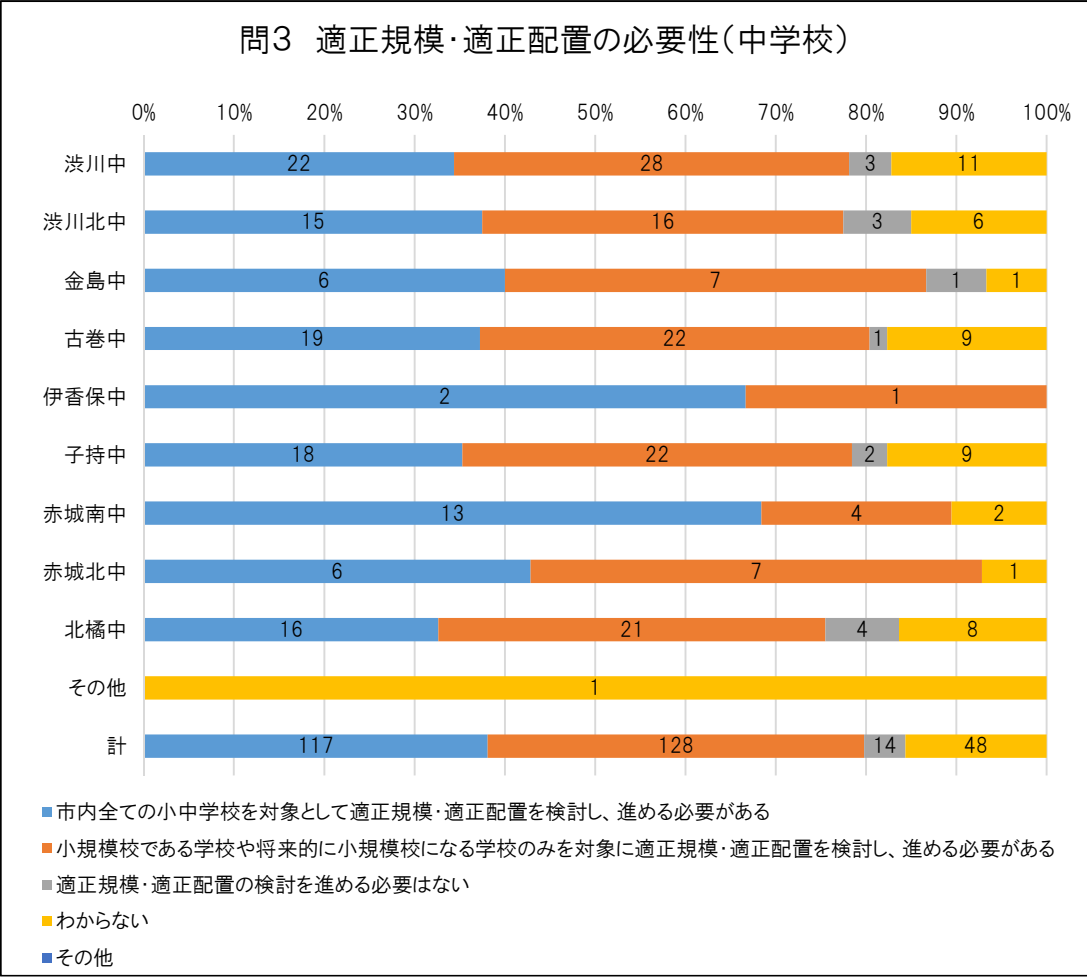
区分	渋川北小	渋川南小	金島小	古巻小	豊秋小	渋川西小	伊香保小	小野上小	中郷小	長尾小	三原田小	津久田小	橘小	橘北小	その他	計
1:市内全ての小中学校を対象として適正規模・適正配置を検討し、進める必要がある	16	13	13	47	24	12	2	1	12	25	24	19	13	9		230
2:小規模校である学校や将来的に小規模校になる学校のみを対象に適正規模・適正配置を検討し、進める必要がある	32	10	15	44	39	9	4		17	17	20	14	22	12		255
3:適正規模・適正配置の検討を進める必要はない	4	3		7	4	2	2		6	1	4	1	3	3		40
4:わからない	7	3	2	21	13	1	4	2	10	7	4	3	9	3		89
5:その他		2	2		1	1			1							7
計	59	31	32	119	81	25	12	3	46	50	52	37	47	27		621



◆問3： 渋川市では「学校の適正規模・適正配置」は必要だと思いますか【1つを選択】

②中学校

区分	渋川中	渋川北中	金島中	古巻中	伊香保中	子持中	赤城南中	赤城北中	北橋中	その他	計
1:市内全ての小中学校を対象として適正規模・適正配置を検討し、進める必要がある	22	15	6	19	2	18	13	6	16		117
2:小規模校である学校や将来的に小規模校になる学校のみを対象に適正規模・適正配置を検討し、進める必要がある	28	16	7	22	1	22	4	7	21		128
3:適正規模・適正配置の検討を進める必要はない	3	3	1	1		2			4		14
4:わからない	11	6	1	9		9	2	1	8	1	48
5:その他											
計	64	40	15	51	3	51	19	14	49	1	307



◆問3補足：「その他」の具体的な内容

内容

- ・ 条件付きであれば実現も可能。
- ・ 統廃合後の、我が子の通学すべき学校が何処になるのか明記されていないこと、また通学方法についても明記されていないこと。これにより、賛否の判断をしかねる。
- ・ 適正配置も検討しつつ、特色のある学校教育を残してもう少しあがいてほしい。
- ・ 適正規模、適正配置の検討を進める必要はあると思うが、登校の負担の懸念がある。
- ・ 現時点では、全ての小中学校を対象として適正規模・適正配置を進めることには反対。少子化などによる将来的な課題について検討する必要性は理解しているが、児童・生徒数や学級数だけを基準に統合を進めるのではなく、学校ごとの地域性や教育環境、通学の安全性、地域とのつながりなどを含めて判断していただきたい。また、統合ありきではなく、現在の学校を維持するためにできることを十分に検討した上で、それでも必要となった場合に、保護者や地域の意見を聞きながら判断すべきだ考える。
- ・ 小規模校には小規模校の特性があったり、小規模校でしかできない事や、中大規模校にはない環境などもあると思うので、そうした特性を残すことも重要だ考える。そのため、難しい面もあると思うが、多角的に検討する必要があると思う。
- ・ 極少人数の学校は統合。

◆問4：問3で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

番号	選択肢	主な理由
1	市内全ての小中学校を対象として適正規模・適正配置を検討し、進める必要がある	- 子どもが少な過ぎて、1学級編成の学年が多い。友だちとトラブルやいじめが発生した時に逃げ場がなく転校するしかない環境である。切磋琢磨することがなく、より上の段階へという思いを持って活動することがないため、成長できる環境が整えられていない。校舎が古すぎて、トイレを使いたくないと言って我慢して帰ってくる。身体に悪い。 - 小規模校だけ行っても、数年後には全体に見直す必要が出てくる可能性が高い。小規模校を適正規模にするには維持できる学校も巻き込まないと進まないと思う。 - 今後の人口減少は不可避。現在小規模である学校のみならず、市内すべての学校で児童生徒の減少が見込まれる。そのため、50年、100年先も見据えて、市内小中学校の学校再編を考えていくことが肝要だと思う。その際、渋川市ならではの学校の特色も極力残し、学校教育の均質化を避けられるようにする必要があると考える。 - 多様性の時代、併せて『渋川市だったらこんな学びができる！』といった何かに特化した魅力ある学校をつくってもよいのではないかと。例えば、伊勢崎市のように中等教育学校をつくとか、放課後や余暇時間を充実させるスポーツや芸術（吹奏楽、合唱、絵画、造形、演劇など）に特化した太田市にあるような芸術学校をつくるなど、親たちが通わせたい魅力ある学校を設置してほしい。 - 渋川市の人口が年々減っている中で、今後子供の数が増えるわけがないので、10年単位で先を見据えて市内全域、小中学校で考えるべきだと考える。赤城北地区は30年以上前から学年2クラス規模である。渋川市は以前から少子高齢化、人口減少が進んでいるにもかかわらず、具体的な検討を始めるのが遅すぎる。 - 小規模校のみで適正規模、適正配置の検討をした場合、また数年後に検討を要する可能性が高いと思う。後から統合するより、一斉に統合した方良いと思う。 - クラス数をできる限り複数とすることが望ましいと考えているため。日中の大半を過ごす学校でクラス数が少ないことは、人間関係でつまづいた時に、子どもへ与えるダメージが大きいと考えている。 - 長期的・広域的に検討する事が安定した教育基盤を維持できると考えられる。
2	小規模校である学校や将来的に小規模校になる学校のみを対象に適正規模・適正配置を検討し、進める必要がある	- 統合することで、部活動やクラブ活動など課外活動も取り組める環境が作れるのならいいと思う。心も身体も鍛えることは勉強だけでは難しく、日々何かに頑張りが続き取り組むなかで養うものだと思うので、そういう環境ができてほしい。 - 適正規模が維持できているエリアに影響が少ないように進めてほしい。今現在で単学級になっている学校は統合していく必要はあると思うが、市内全ての学校を対象にする必要はないと思う。適正維持が見込めるのであれば統合の必要性は感じないが、新校舎により子どもの学習環境が改善されるのであればまだ納得はできる（教室、体育館にエアコン設置等）。しかし、統廃合により通学時間が長くなるおそれがあることが一番のデメリットだと思う。 - 市内全ての場合、あまりに範囲が広いと、スクールバスの運行や範囲、新設の学校の設置場所、教職員数、部活動及び地域クラブの考え方とその運用方法など、学校と学校をとりまく環境が見えてこない段階で、市内全てで行う必要性を保護者として感じることは難しい。 - 学校の適正化を、単に学校数を減らすための統合ではなく、子どもたちにとってより良い教育環境を整え『渋川市で子育てをしたい』と思えるまちづくりに繋げて欲しい。 - 小規模校でのメリットもあり、通いやすさもあるが、デメリットも多く選択肢がないのは精神的に追い詰められる。小規模な学校のみ現状維持できる学校に統合したほうが良いと考える。教室や備品などの確保、無駄なお金をかけず、受け入れ学校の環境を大幅に変えず生徒達が過ごせると思う。 - 子どもが通学しやすいように。学区内で徒歩で通学できる範囲内で家を建てたのに、別の学区までいかないとならないなら、まずは安全に登下校できる交通整備をまず最初にするべき。スクールバスや公共バスの導入などを作るなど。保護者の送迎は仕事をしているので、毎日不可。 - 少人数過ぎる学校は、維持を考えると税金的にも良くないと思うが、ある程度規模がある学校に通う家庭は、それを見越して家を建てていると思うので、予定の学校より通学が長くなってしまうのは受け入れ難い。 - 全体的に行うのは大変だと思う。全ての学校対象としなくても、現時点で人数のいる学校は対象としなくていいと思う。通学時間の差が大き過ぎると思われる。

◆問4：問3で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

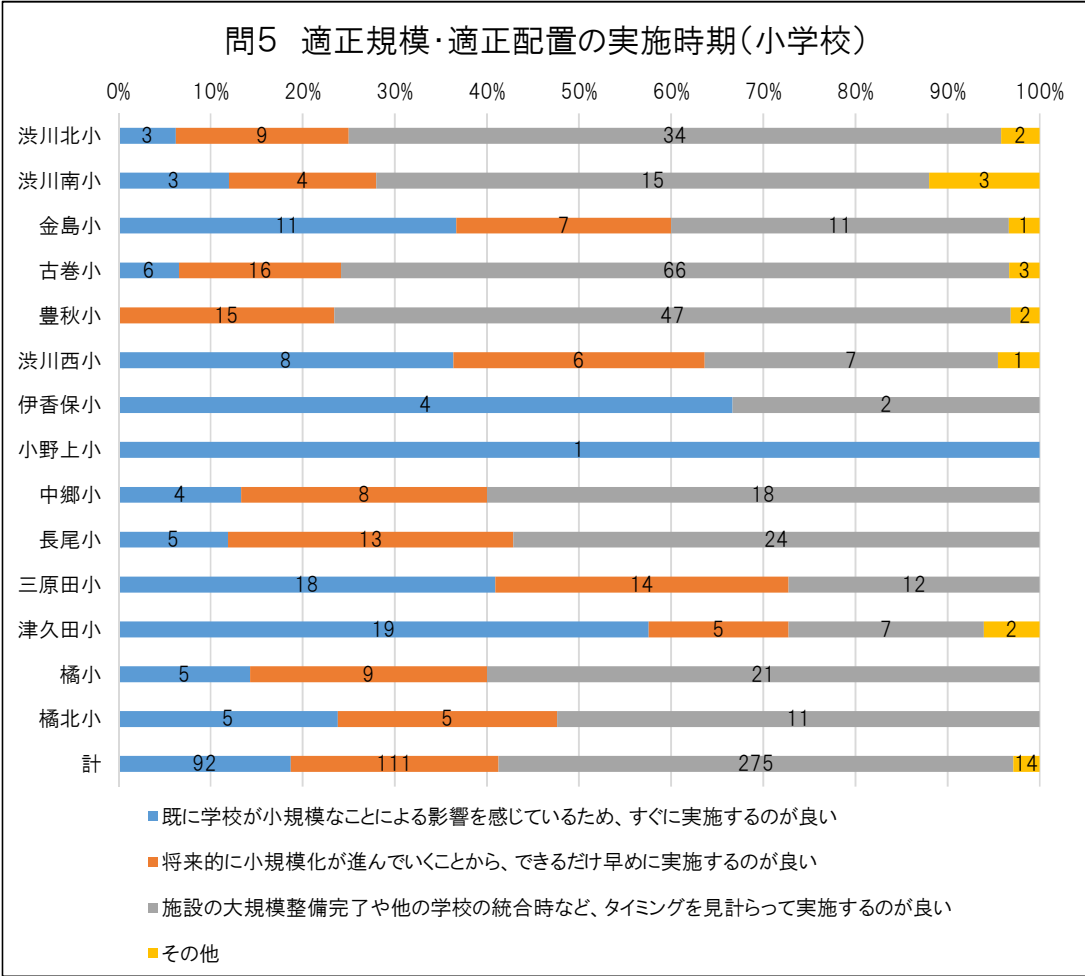
番号	選択肢	主な理由
3	適正規模・適正配置の検討を進める必要はない	・ 繊細な子やHSP気質、エンパス気質の児童にとって小規模で行われる学びの場が重要である点を改めて考えていただきたい。できる限り、小規模クラス編成を、市内の小中学校どこかに一校は配置して欲しい。 ・ 統合は反対。まだ早いのではないか。小規模校が合併でいいのでは。3校が重なるのは多いと思う。統合すると不登校・行き渋りが多くなる。今までの生活環境もガラッと変わるので、子どもの心のケアも必要となる。今現在統合した学校生徒を見ると、不登校・行き渋りの子どもが多くいる。 ・ 学校の位置が変わってしまうと、毎日のことなので利便性の点で差ができる。通学距離が長くなると、車通りの多いところを歩かせるのが不安だし、その分朝早く家を出る必要がある。今は共働きの家が多く、朝の忙しい時間から送迎しなくては安心出来ないような気がして、保護者の負担が今より更に増えると思う。 ・ 人数が増えれば大人の目は行き届かなくなる。子供たちが大人の見ていない場所での陰湿なイジメ等が起きる可能性が高くなり、個性を個性として見れなくなる。学校は勉強が主だが、集団生活において人間関係を学ぶ場所でもあるため、人間育成(心が育成)出来なくなるリスクがあるなら子供のためにやめるべき。通学時間が長いのも問題である。 ・ 地域に学校がなくなることではどうか。そこから更に過疎化が進んでしまう気がする。アメリカなどの進んだ国では、一学級に2人の先生がつき、手厚く指導してくれる。つまり、学力等の取りこぼしを、無くす努力をしてくれているということである。ただ単に学校を減らして、子どもの人数が増える。その子達に対する先生は増えるのか。小規模だからこそできることをさせてあげるのとは駄目なのか。 ・ 登下校での子供の負担が大きくなることが考えられ、災害時などの安全面に不安を感じる。人数が少ないほうが先生の負担が減るのではないかと感じる。 ・ 統廃合に反対ではないが、そこだけに目を向けずに進めてほしい。統廃合の前にやるべきこと考えるべきことをしたほうがいいのか。渋川市内学区の道路の整備も不十分で登下校が不安である。地震等自然災害に対しても学校の整備が必要だと思う。
4	わからない	・ 不登校、保護者の仕事との兼ね合い、送迎の可否、急な環境変化による児童のストレスがあるが、児童数によるコミュニケーションの成長等を考えると一概に反対も難しい。 ・ 子供が自分で学校へ行ける事が大前提だと思う。小規模が悪いわけではない。金島は平日はスクールバスが運行しているが、土日の部活では運行されない。土日の部活、自転車通学の許可も降りない。親が送迎できないなら、部活を休んでも良いと言われたが、それが教育方針では困る。小規模ならではの良さもあるので、廃校基準などを明確に示して、みんなが納得できる統廃合のした方を考えるべき。 ・ 在学途中(卒業と入学という区切りではない時期)に環境が大きく変わることには不安がある。特に低学年は、やっと学校に慣れたのにまたすぐ移動ではかわいそうに思う。通学に要する時間が長くなることも心配である。 ・ 誰、何のための適正配置なのかが不明。在校生がもっと人数がいて欲しいという要望があったのか？意見を募ったのか？財政、金銭的な問題からなのか？小規模のメリット、デメリットもあれば大規模のメリット、デメリットもあるので現時点では何が良いのか、まだ自分の中でわからない状態。 ・ 市内中心部はまだ歩ける範囲内ではあるが、それ以外の通学は交通機関を利用するか保護者の送り迎えが必須、最近では野生動物の遭遇も加味しないといけな。帰宅に関して学童の利用も必須になり、定員で入らない児童も多くなりそう。学校そのまま分けた状態であれば教職員不足、児童をまとめても学童の不足問題がある。 ・ 生徒人数が少ないのもデメリットはもちろんあるが、個々にサポートが必要な子供たちも近年増えているように思うので、そのあたりを考えると全体の生徒人数が増えることに不安を感じる。また、通学時間などに関しても、生徒はもちろん保護者も負担になる場合もあると思うので、そのあたりのことも想像にはなるが考えてしまう。 ・ 『学校として』と考えるなら適正配置である。しかし、『子供一人一人の事』として考えると、今のままでいいと思う。統廃合によって子供が辛くなるなら意味がないと思う。親として学校と関わる事としても、まとめ過ぎは困る。

◆問4：問3で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

番号	選択肢	主な理由
5	その他	・ 統合後に通学距離が伸びるエリアがあるのが心配。低学年の足で片道30分以上かかるのはだいぶ負担。また河川をはさむことによる川の事故のリスクは高い。 ・ 統廃合後の、我が子の通学すべき学校が何処になるのか明記されていないこと、また通学方法についても明記されていないこと。これにより、賛否の判断をしかねる。 ・ 適正配置にするメリットもデメリットもよく考えて、建物が有効なうち、増築が必要になるような期間のうちにまだできることがあるのではと考えていきたい。 ・ 少子化などにより、将来的に学校の規模について検討する必要性があることは理解している。しかし、現時点で全ての学校を対象として一律に適正規模・適正配置を進める必要があるのかについては、慎重に考える必要があると思う。学校は児童・生徒数や学級数だけで判断するのではなく、教育環境、通学の安全性、地域とのつながりなど、学校ごとの実情も含めて考えるべき。 ・ 将来的に統合等が必要となる場合でも、統合ありきで考えるのではなく、まず現在の学校を維持するためにできることを十分に検討し、その上で必要性を判断していただきたいです。 ・ 児童・生徒数が三桁あれば統廃合は不必要ではないか。一桁、二桁台の学校を近隣校に統合する形なら児童の離別、保護者の混乱も少ないのでは。適正規模にした所で人口減少を止められる訳でもなし。人数が多すぎるといじめも増える。 ・ 様々な事情を持つ家庭があると思う。 ・ 統廃合により通学時間が長くなってしまう場合もあるのが心配。低学年の足で片道30分以上かかるのはだいぶ負担がある。

◆問5:あなたのお子様が通う小学校の適正規模・適正配置は、いつ頃実施するのが良いと思いますか。
 ※小学生の保護者でかつ問3で1、2又は5を回答した者

区分	渋川北小	渋川南小	金島小	古巻小	豊秋小	渋川西小	伊香保小	小野上小	中郷小	長尾小	三原田小	津久田小	橘小	橘北小	その他	計
既に学校が小規模なことによる影響を感じているため、すぐに実施するのが良い	3	3	11	6		8	4	1	4	5	18	19	5	5		92
将来的に小規模化が進んでいくことから、できるだけ早め to 実施するのが良い	9	4	7	16	15	6			8	13	14	5	9	5		111
施設の大規模整備完了や他の学校の統合時など、タイミングを見計らって実施するのが良い	34	15	11	66	47	7	2		18	24	12	7	21	11		275
その他	2	3	1	3	2	1						2				14
計	48	25	30	91	64	22	6	1	30	42	44	33	35	21		492



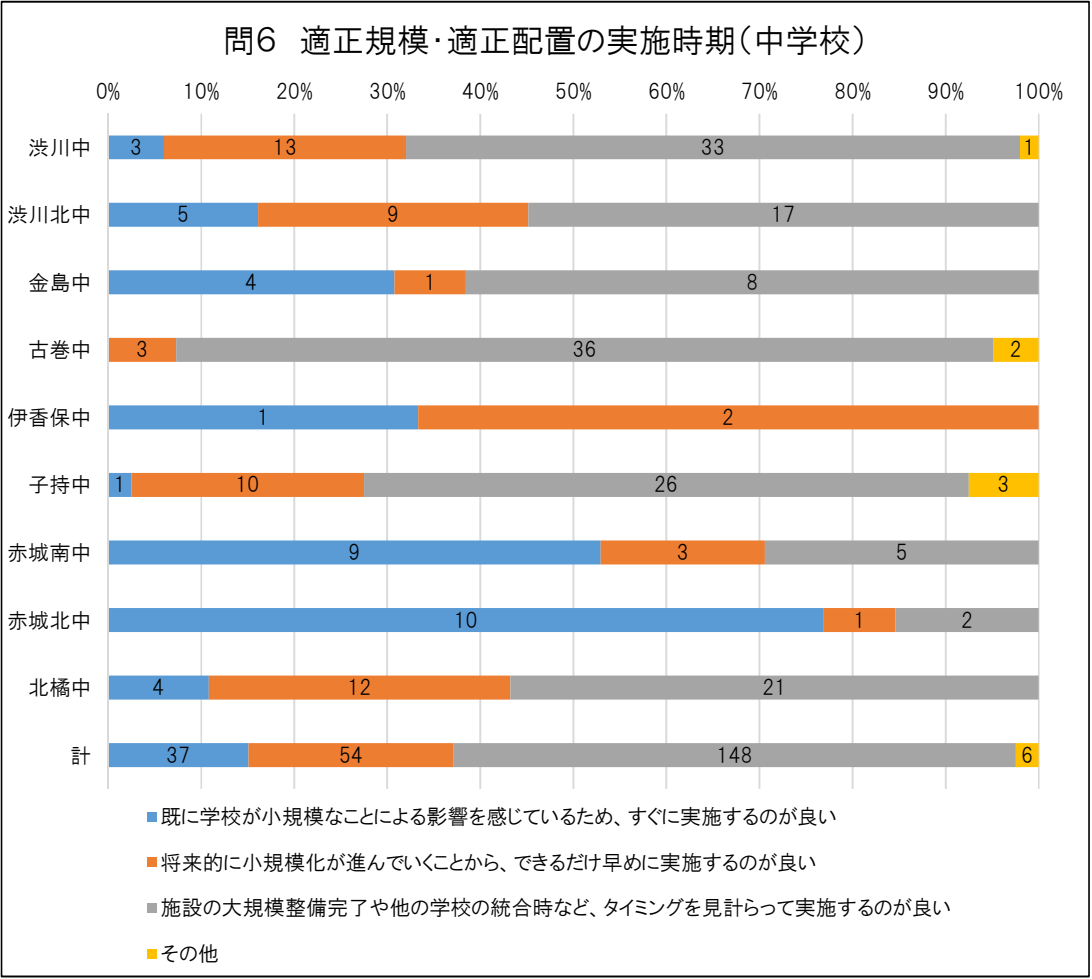
◆問5補足：「その他」の具体的な内容

内容

- ・ 小学校より中学校統合を今すぐに実施するべきと感じる。
- ・ 市全体の施策を基に実施することが大切だと思う。
- ・ 北小、北中は継続希望。伊香保、金島が北に統合すれば良いと思う。
- ・ 現在の学校に通いたい。北小学区から統合先の金島小は遠すぎる。
- ・ 市の方針が示す適正規模となっていなくても、学校自体が地域と連携して良い状態に保てているのであれば、無理に統合する必要は無い。むしろ、学校への入学者数が増える政策を市が全力で進めるべき。
- ・ 現状、問題なく、不満もなく、小規模ならではの良さも感じていることから、現状よりもメリットを感じられた場合、その時には統廃合実施を希望する。
- ・ 小規模校は適切な時期に。それ以外は校舎の建て替えのタイミングで実施すべき。
- ・ 小規模が悪いとは考えていない。もう少しきちんと検証検討し、慎重に進めるべきと思う。
- ・ 現時点では、実施時期を決めることを急ぐのではなく、まず学校ごとの状況を見ながら、適正規模・適正配置の必要性そのものを判断することが先だと考える。児童生徒数だけでなく、教育環境、通学の安全性、地域とのつながりなどを踏まえ、現在の学校を維持するためにできることを十分に検討した上で、それでも必要となった場合に、子どもたちや地域への影響を考慮して実施時期を判断していただきたい。
- ・ 古巻は少数校ではなく学校が変わるということがない為、実施時期は少数校で検討した方が良いと思う。
- ・ 小規模校のみ早急に対応すればいいと思う。
- ・ 統廃合すべき事由がない。

◆問6：あなたのお子様を通う中学校の適正規模・適正配置は、いつ頃実施するのが良いと思いますか。 ※中学生の保護者でかつ問3で1、2又は5を回答した者

区分	渋川中	渋川北中	金島中	古巻中	伊香保中	子持中	赤城南中	赤城北中	北橋中	その他	計
既に学校が小規模なことによる影響を感じているため、すぐに実施するのが良い	3	5	4		1	1	9	10	4		37
将来的に小規模化が進んでいくことから、できるだけ早めに実施するのが良い	13	9	1	3	2	10	3	1	12		54
施設の大規模整備完了や他の学校の統合時など、タイミングを見計らって実施するのが良い	33	17	8	36		26	5	2	21		148
その他	1			2		3					6
計	50	31	13	41	3	40	17	13	37	0	245



◆問6補足：「その他」の具体的な内容

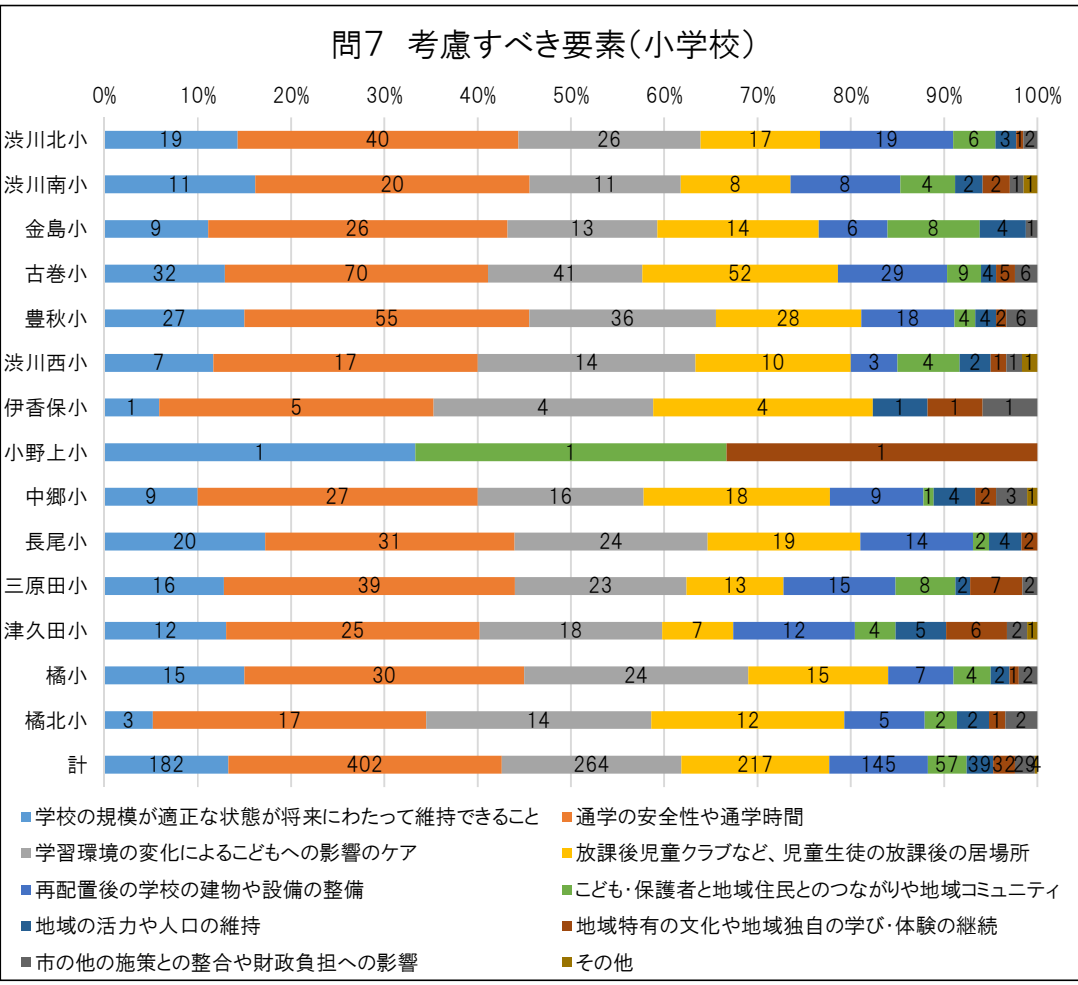
内容

- ・ 校舎が古く、立地も良くないため統廃合に合わせて移転してほしい。
- ・ 卒業してしまうので、分からない。
- ・ 十分な人数がいる為、実施しなくていいと思う。
- ・ 人数いるから必要なし
- ・ 建物が古すぎるのですぐに建て替えてほしい。

◆問7：学校の適正規模・適正配置の検討を進めるに当たり、より考慮（配慮）して欲しいと思うものを選んでください。【3まで選択可能】

①小学校

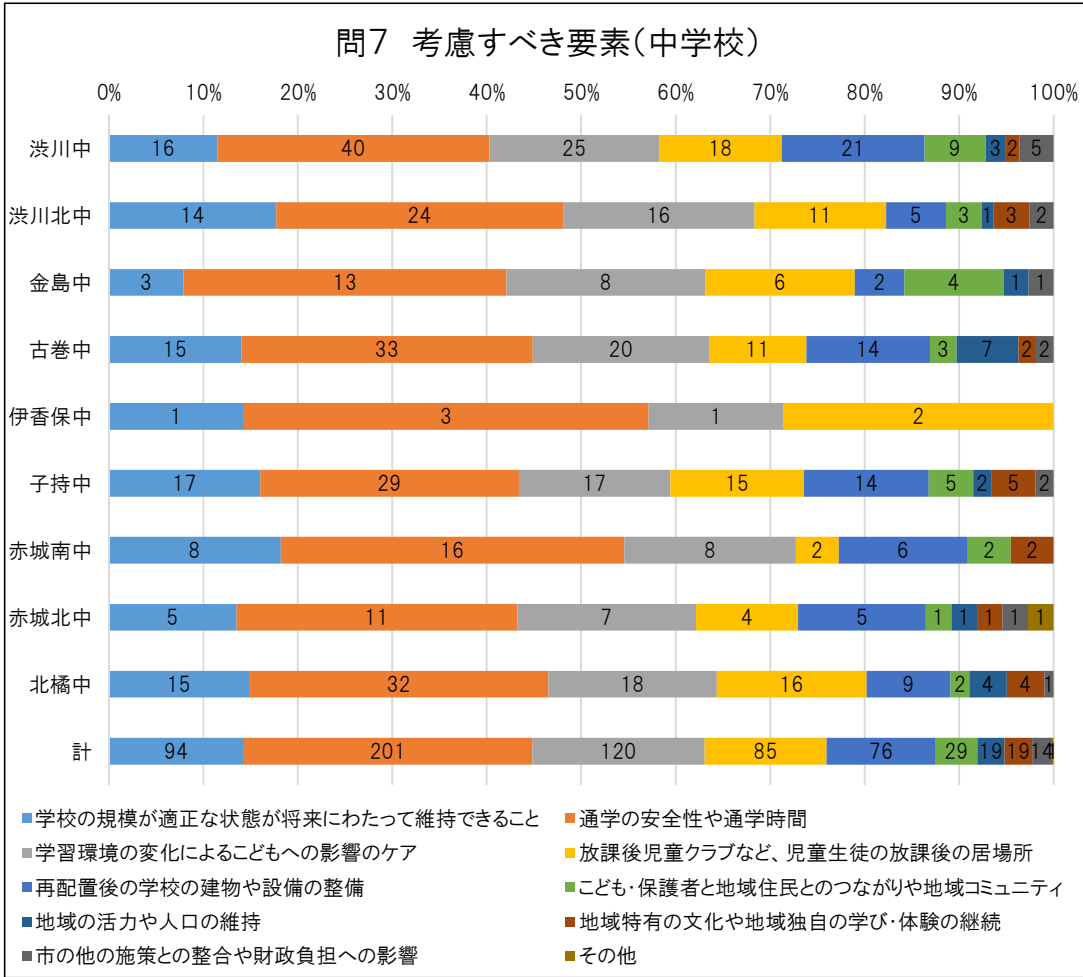
区分	渋川北小	渋川南小	金島小	古巻小	豊秋小	渋川西小	伊香保小	小野上小	中郷小	長尾小	三原田小	津久田小	橘小	橘北小	その他	計
学校の規模が適正な状態が将来にわたって維持できること	19	11	9	32	27	7	1	1	9	20	16	12	15	3		182
通学の安全性や通学時間	40	20	26	70	55	17	5		27	31	39	25	30	17		402
学習環境の変化によるこどもへの影響のケア	26	11	13	41	36	14	4		16	24	23	18	24	14		264
放課後児童クラブなど、児童生徒の放課後の居場所	17	8	14	52	28	10	4		18	19	13	7	15	12		217
再配置後の学校の建物や施設の整備	19	8	6	29	18	3			9	14	15	12	7	5		145
こども・保護者と地域住民とのつながりや地域コミュニティ	6	4	8	9	4	4		1	1	2	8	4	4	2		57
地域の活力や人口の維持	3	2	4	4	4	2	1		4	4	2	5	2	2		39
地域特有の文化や地域独自の学び・体験の継続	1	2		5	2	1	1	1	2	2	7	6	1	1		32
市の他の施策との整合や財政負担への影響	2	1	1	6	6	1	1		3		2	2	2	2		29
その他		1				1			1			1				4
計	133	68	81	248	180	60	17	3	90	116	125	92	100	58		1371



◆問 7：学校の適正規模・適正配置の検討を進めるに当たり、より考慮（配慮）して欲しいと思うものを選んでください。【3まで選択可能】

②中学校

区分	渋川中	渋川北中	金島中	古巻中	伊香保中	子持中	赤城南中	赤城北中	北橘中	その他	計
学校の規模が適正な状態が将来にわたって維持できること	16	14	3	15	1	17	8	5	15		94
通学の安全性や通学時間	40	24	13	33	3	29	16	11	32		201
学習環境の変化によるこどもへの影響のケア	25	16	8	20	1	17	8	7	18		120
放課後児童クラブなど、児童生徒の放課後の居場所	18	11	6	11	2	15	2	4	16		85
再配置後の学校の建物や施設の整備	21	5	2	14		14	6	5	9		76
こども・保護者と地域住民とのつながりや地域コミュニティ	9	3	4	3		5	2	1	2		29
地域の活力や人口の維持	3	1	1	7		2		1	4		19
地域特有の文化や地域独自の学び・体験の継続	2	3		2		5	2	1	4		19
市の他の施策との整合や財政負担への影響	5	2	1	2		2		1	1		14
その他								1			1
計	139	79	38	107	7	106	44	37	101		658



◆問 7 補足：「その他」の具体的な内容

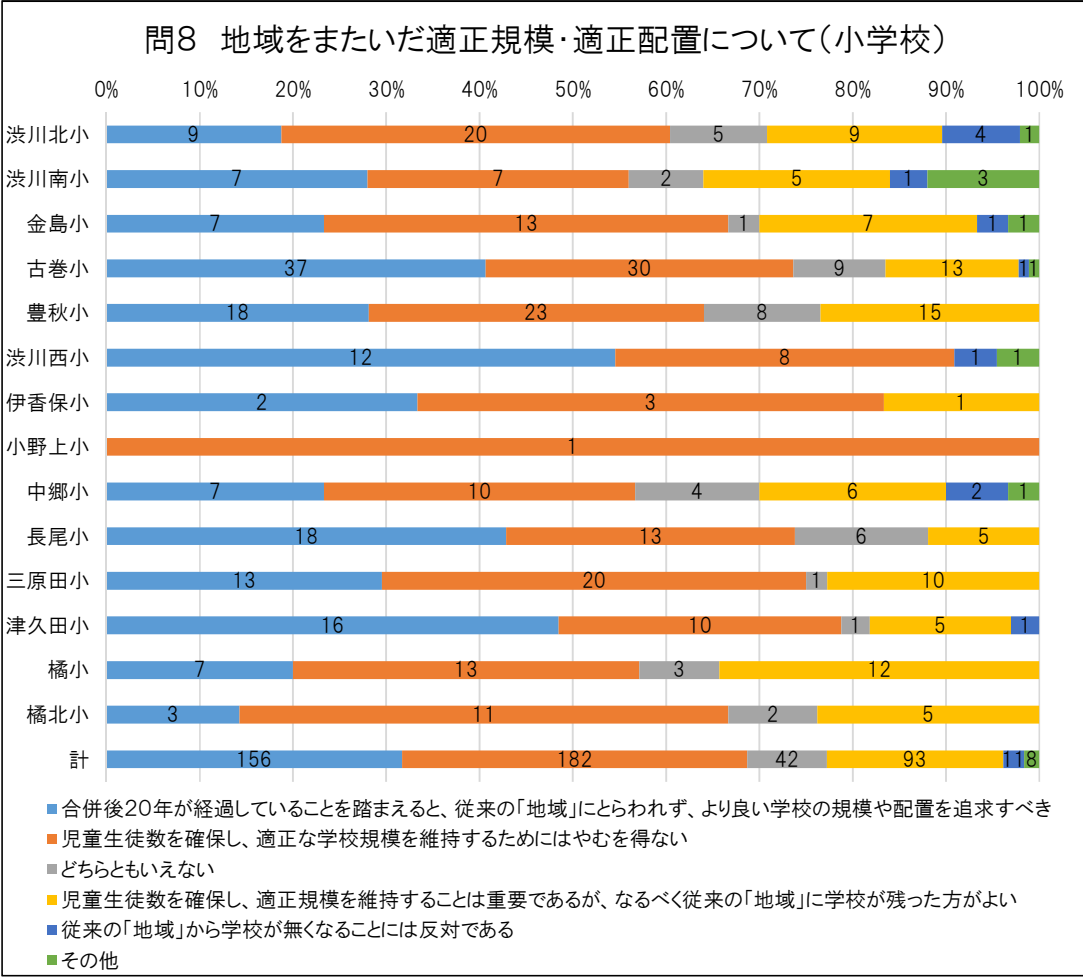
内容

- ・ 部活動やクラブ活動など課外活動の維持。
- ・ バリアフリーの環境や、エレベーターの設置、自動ドアの設置など、インクルーシブな教育環境の充実
- ・ 通学路や距離の問題、子供の安全性、友人との離別がないことが一番大事。適正規模だの人数なんてどうでもいい。
- ・ 義務教育学校の設置。

◆問8：学校の規模を適正な範囲に保つことを優先した場合、統廃合の方法によっては、従来イメージされることが多い「地域」（旧市町村区や学区）から学校が無くなり、近隣の学校へ通学するようなケースも考えられます。このような形での適正規模・適正配置について、どのようにお考えですか。

①小学校

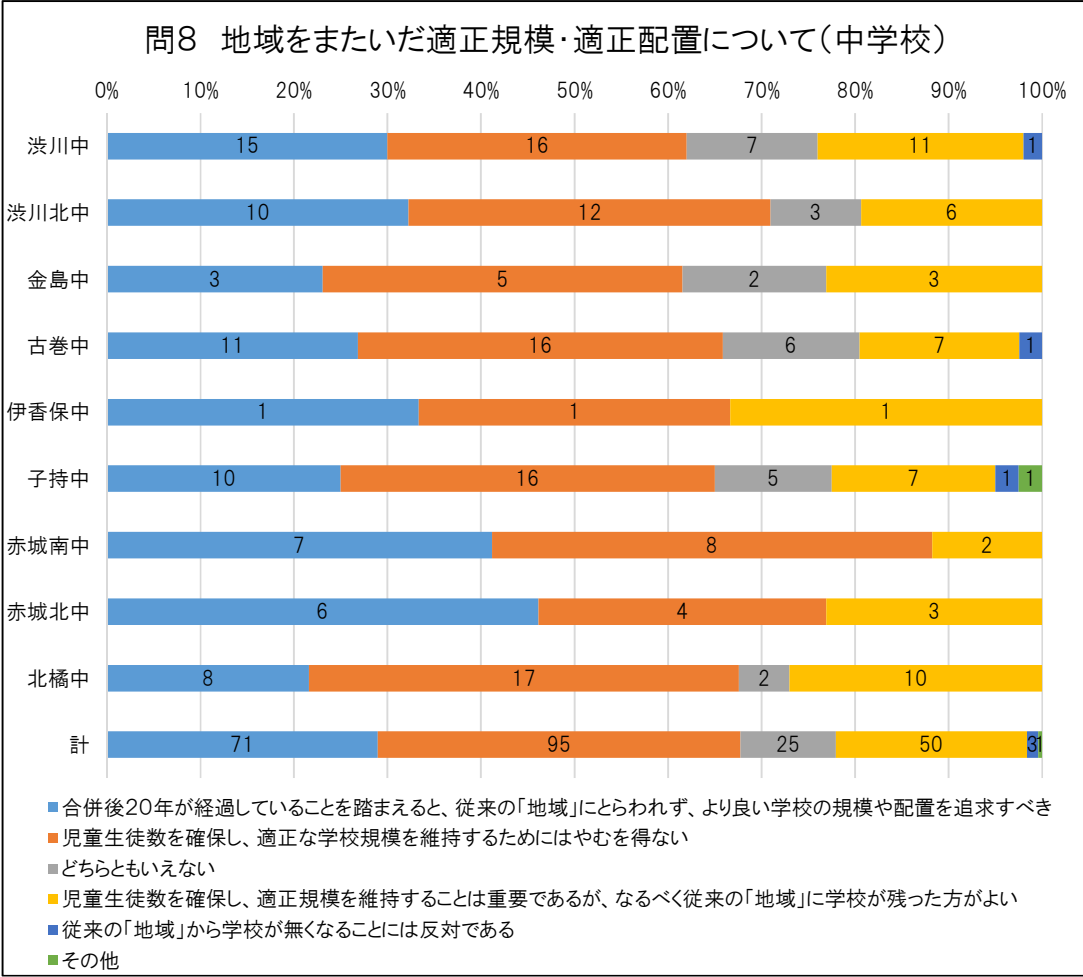
区分	渋川北小	渋川南小	金島小	古巻小	豊秋小	渋川西小	伊香保小	小野上小	中郷小	長尾小	三原田小	津久田小	橘小	橘北小	その他	計
合併後20年が経過していることを踏まえると、従来の「地域」にとらわれず、より良い学校の規模や配置を追求すべき	9	7	7	37	18	12	2		7	18	13	16	7	3		156
児童生徒数を確保し、適正な学校規模を維持するためにはやむを得ない	20	7	13	30	23	8	3	1	10	13	20	10	13	11		182
どちらともいえない	5	2	1	9	8				4	6	1	1	3	2		42
児童生徒数を確保し、適正規模を維持することは重要であるが、なるべく従来の「地域」に学校が残った方がよい	9	5	7	13	15		1		6	5	10	5	12	5		93
従来の「地域」から学校が無くなることには反対である	4	1	1	1		1			2			1				11
その他	1	3	1	1		1			1							8
計	48	25	30	91	64	22	6	1	30	42	44	33	35	21		492



◆問8：学校の規模を適正な範囲に保つことを優先した場合、統廃合の方法によっては、従来イメージされることが多い「地域」（旧市町村区や学区）から学校が無くなり、近隣の学校へ通学するようなケースも考えられます。このような形での適正規模・適正配置について、どのようにお考えですか。

②中学校

区分	渋川中	渋川北中	金島中	古巻中	伊香保中	子持中	赤城南中	赤城北中	北橋中	その他	計
合併後20年が経過していることを踏まえると、従来の「地域」にとらわれず、より良い学校の規模や配置を追求すべき	15	10	3	11	1	10	7	6	8		71
児童生徒数を確保し、適正な学校規模を維持するためにはやむを得ない	16	12	5	16	1	16	8	4	17		95
どちらともいえない	7	3	2	6		5			2		25
児童生徒数を確保し、適正規模を維持することは重要であるが、なるべく従来の「地域」に学校が残った方がよい	11	6	3	7	1	7	2	3	10		50
従来の「地域」から学校が無くなることには反対である	1			1		1					3
その他						1					1
計	50	31	13	41	3	40	17	13	37		245



◆問9：問8で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

番号	選択肢	主な理由
1	合併後20年が経過していることを踏まえると、従来の「地域」にとられず、より良い学校の規模や配置を追求すべき	- 赤城地区に学校が無くなることで、ますます人口減少に拍車がかかるのではと懸念する声も聞かれるが、学校を残すだけでは人口減を防ぐことはできないと思う。それよりも、地域に学校がなくてもしっかり子どもたちが学べる環境があるということを内外に示すべき。 - 既に市町村合併から20年経過しているので、そろそろ旧市町村区といった言葉はなくていったほうがよい。そうでないといつまでたっても合併をしたスケールメリットを活かすことができないし、合併した意味がないと思う。 - 地域にこだわっているのはもう学校に通う子どもがいない世代の大人ではないか。実際に我が子が小規模校に通っている親や、これから通う事になる親からしたら、子どもの選択肢を増やし、世界を広げるためにも一刻も早く統合して欲しい。 - 今の子育て世代、これからの子育て世代、そして子供たちは、合併前の旧町村にこだわりは無い。これからの渋川、これからの子供たちのことを考え、最適な方法を決めていって欲しい。最優先すべきは子供たちである。 - 小学校から中学校までほぼ同じメンバーで過ごしているため、新しい人間関係を作るということを学ぶ機会が無い。高校に上がってから友達作りにつまづく子もいるという話を聞くので、早くから多くの人間に囲まれて人間関係の構築の仕方を学ぶことは必要かと思う。 - 理想は、従来の地域を超えて、渋川市を本当の意味で一つのまちと捉えて配置を検討することだと思える。 - この先何年経とうが、今児童数が少なく維持出来ないなら、これから先もその地域に人が移り住み子供の人数確保は難しいと思う。 - 人口減少、少子化で仕方ないことだと思う。地区にこだわらない。教師が不足しているのも心配。地区にこだわり学校が分散することで、教師が不足するようなことは避けてほしい。 - 人数が少ない中、既存の学校を生かしているのは渋川市だけではないか。ほかの市は着々と統合しており、実際に通学している子どもたちがかわいそう。
2	児童生徒数を確保し、適正な学校規模を維持するためにはやむを得ない	- 人数が少な過ぎて、ずっと同じ顔ぶれの人間関係が続くのは、我が子の場合かなりストレスを感じるようだ。毎年クラス替えがあつて、様々なタイプの友達に出会えるのが楽しいと言っている。距離や通学時間の問題もあるが、ゆくゆくは高校進学等でよほどのことがない限り通学時間が長くなるのは当たり前なので、仕方ない。 - 少ない人数では体育の授業や運動会など、できることが限られてきてしまうため。また、少ない人数だと勉強や学校生活で目が行き届く等良いこともあるかもしれないが、友達同士の合う・合わない問題が出てきた場合は行き場がなくなったり、性別が偏ることによって学年によっては接点が減ってくるので、孤立する心配が出てくるのではないかと思う。 - 地域にとらわれていたら進まない。統合した学校で、各地区の地域を理解できる学習時間を設けて、地域の人々との交流をしていけばよいのではないか。渋川市に居ても他の地域のことは知らないことが多く、統合によって様々な文化や伝統行事などに触れられるメリットもあると思う。 - 実際に自分の子供が通う小学校の同級生が少ないことを知り、小学校入学から中学校卒業までの9年間を過ごす環境としては、あまりにも子どもの人数が少ないと思う。学習や社会性の構築に欠かせない年月を過ごす環境として、ある程度の人数が必要であると思う。 - 現状、部活動などは人数が足りず、他校との合同で行っている。学校行事(運動会や旅行など)もどこか寂しさを感じる。学校の統廃合は仕方ないことだと思うが、地域や私たちにとって思い出の学校でもあることを忘れてはならない。渋川市としても若い世代の人口を増やし、子供達が増えるようなまちづくりや取り組みを怠ってはいけないと思う。 - 廃校になった学校は地域の使用や子供の居場所など別の使い道があれば嬉しい。自分の通っていた母校が無くなるとしたら寂しく思うが学校以外での活用、利用方法があるのなら寂しくはないと感じる。統合先の校舎や設備がきれいで使いやすいのなら良いと思う。 - 地域との関わりも大切だが、こどもの学習環境や人間関係の方が大切だと考えているから。

◆問9：問8で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

番号	選択肢	主な理由
3	どちらともいえない	- 自分の住む地域の歴史や文化もしっかり学んでほしい。子供達が自分の生まれ育った場所がどんな場所なのか知っておいて欲しいし、大人になった時に自分の住む地域の歴史や文化を次の世代に繋いでいけるように学んでおく必要があると思う。 - 児童生徒数が年々減少していて、クラスの数や部活動も少なくなっているのは深刻だが、学校自体が無くなってしまふのは学校の歴史もなくなってしまうようで卒業生も寂しいと思う。ただ、やはりこれからのことを考えると規模を大きくして生徒数を増やした方がいいのではと思う。 - 地域から子どもがいなくなることは寂しい反面、子育て世代には暮らしづらさがある。 - 生徒数確保の面では必要と思うが、通学生徒や保護者の負担が大きくなる懸念がある - 地域から学校がなくなることは仕方ないと思う反面、寂しいと感じる方々も多いと思う。 - ある程度の規模、生徒数とは思うが、安全性、また通うにあたり保護者負担など、まだまだ課題は多いと思う。 - 災害等が起きた時の避難場所になったりするため、エリアが広くなりすぎることはデメリットもあると思う。 - 赤城出身者としては北と南が分かれてしまうのは辛いけれど1番大事なのは通ってる子どもたちがどう思うか。大人ではなく子どもたちがどう思うかを1番に考えてあげてほしい。でも多い人数で体育や部活ができる、通学時間が短い、というのも親からしたら1番大事かなと思う。 - 財政負担だけでなく、学校が統合されて通学時間が長くなることによる子供、親への負担も考慮していただきたい。 - 児童数よりも先生の人数の確保が重要。統合により解消するのであれば賛成だが、学童クラブなどすでに満員状態の現状をどうするのか。 - できればそれぞれの通い慣れた学校への通学が各家庭の負担がないのではないかなと思う。
4	児童生徒数を確保し、適正規模を維持することは重要であるが、なるべく従来の「地域」に学校が残った方がよい	- 近隣に学校がなくなること、バスや親の送迎等での登下校が日常化すると思う。そうすることで地域との繋がりがますますなく無くなるとや、歩くことも減り子どもの体力低下が心配である。北小区域には幼稚園から高校までの施設が揃っているところが魅力であると思うので、それが無くなるのはとても残念。また、学校がなくなること、渋川中心街に移り住んでくる若い家庭も減り、ますます高齢化や空き家が増えるのではないかなと思う。 20年経っても、その地域にあるから成り立つ学校の文化というものはあるものである。どこまでも合理性だけで区切っては、将来の群馬や渋川を担う子どもたちの生まれた土地への愛着は育てることはできない。結果、子どもたちは他市町村、他都道府県で生きていくのではないかな、人口減は進むのではないかなと思う。 - 学校が無くなることで、その地域に子育て世帯が住み続けることや移住が減ってしまい益々地域の少子化・過疎化に繋がってしまうと思うので慎重に進めるべき。通学への距離があると子どもはもちろん、共働き夫婦にとっても様々な負担が生じるので、子どものメンタル面のケアや送迎などの環境整備が必須だと思う。 - 適正規模を100%満たす必要があるとは思えない。子供は地域の中で育つものと思う。遠く離れた学校へバスで通う生活となると、地域とのつながりは相当薄れると思う。生まれ育った場所で形成されるアイデンティティの違いが、将来的な人格形成にも大きな影響を及ぼす。全体主義的な教育環境は個性を育まない。 - 児童生徒数の減少が進む中で、一定の学校規模を確保するための統廃合は必要だと考えている。一方で、学校は教育の場であるだけでなく、地域のつながりや子どもたちの生活圏とも深く関わっているため、規模だけを優先して従来の地域を大きく分断するような再編には慎重であって欲しい。特に通学距離や通学時間が長くなることは、子どもや家庭にとって日々の負担になる。 - 小学校がない場合、少なくとも子育てを考える若い世代の移住者は引越し先には選ばない。現状、子どもを育てているが地域に小学校がなくなれば引越しも検討する。統合自体は仕方ないと思うが、あまりに遠い場所に子どもを通わせることになったらデメリットしか感じない。 - 統廃合は避けて通れないと考えるが、理想を言えば地域ごとに学校がある方が望ましい。（通学で保護者が送迎する負担や、バス通学で時間がかかるのが心配）

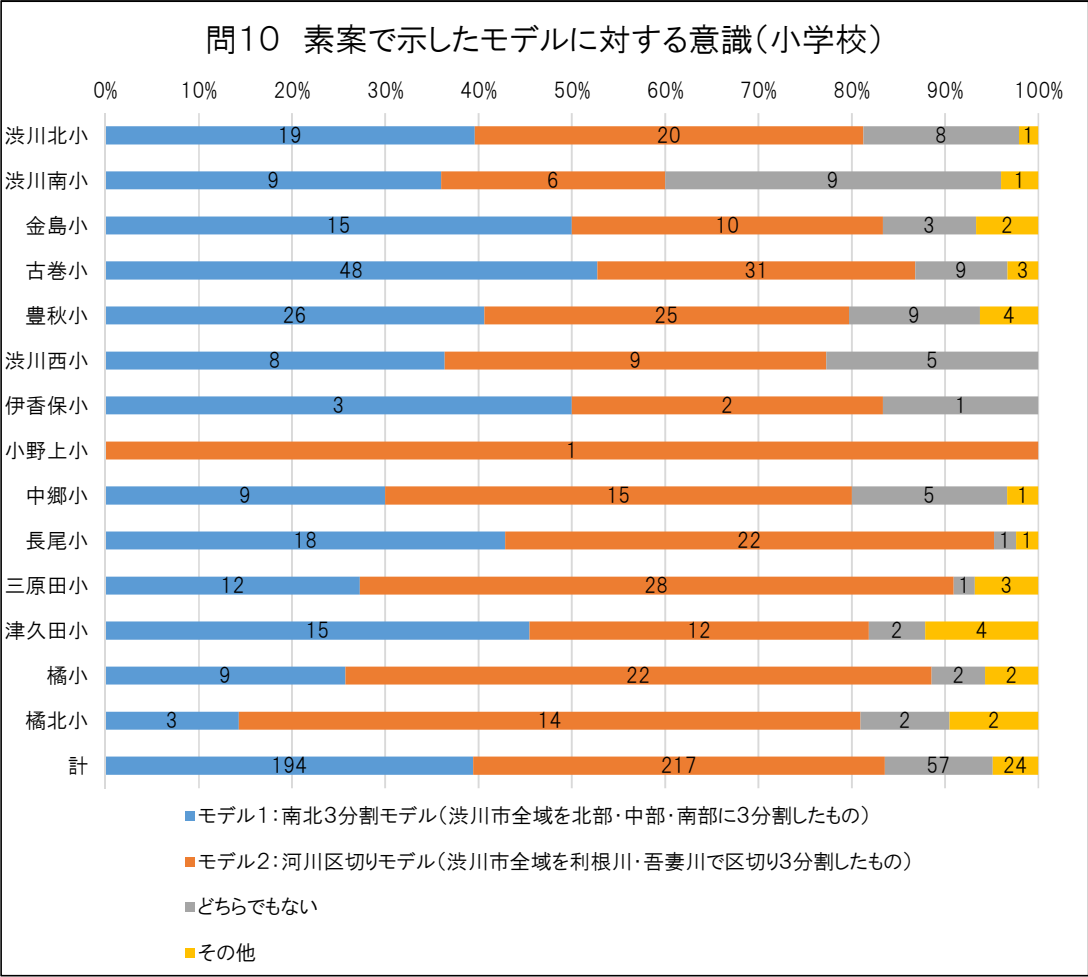
◆問9：問8で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

番号	選択肢	主な理由
5	従来の「地域」から学校が無くなることには反対である	・ 近隣との関わりがなくなってしまう。 ・ 学年関係なく触れ合えるオープンクラスで、校舎がきれいだから。 ・ 通学にかかる負担が子供にも、親にも大きいと思う。通学のしやすさは不登校にも関わる問題だと思われる。多くの地域で自転車登校が必要になることが考えられるが、渋川市は急な坂道が多く、通学困難な子どもが出てくる可能性が高い。自転車の交通事故も増加すると思われる。自家用車で毎日送迎となると家庭への負担も大きい。スクールバスの整備などを考えているのかも、現段階では分からないため、賛同しかねる。また、「学校が近いから」という理由で家を建てている家庭も多いと思う。もともと歩いて通えるから、と思って生活してきたため、バス等の利用が必要になると思うと不安を感じる。小中学校においては「通学のしやすさ」はやはり家庭において重要視する部分である。 ・ 学校があるから人が来る、暮らす場所として選ぶ人がいる、家が建つ。学校がなくなってしまうたら山間部の過疎化が更に深刻になることが心配である。 ・ 災害時の避難所を兼ねても、最低でも地域に1校は小中一貫校なども含め、学校があったほうが良いと思う。 ・ 子供たちの学校への通いやすさが優先されるべきなのではないかと思うから ・ スーパーは無くなる、塾も無くなるでは子供がいなくなるのは当然。いないから無くすではなく、人を集める都市計画を考えてほしい。
6	その他	・ 将来的なこともあるが、子供が安全に通学できることが一番だと思う。活気ある学校であってほしい。 ・ 学校が無くなることになり、地域の過疎化がますます進む。 ・ 児童生徒数、適正規模問わず、生徒が多かれ少なかれ、学校が小規模であろうと大規模であろうと、一人一人が何の不便も問題もなく、楽しく通えれば学べれば、それで良い。例えば、いじめの問題をあげるとするならば生徒数が少なくても、あれば問題。生徒数が多くても、なければ問題なし。規模云々ではなく、もし、いじめが起きた時、学校側が真摯に受け止め対応できる体制を整えられるかが大事であり課題点。学校が小規模でも大規模でも、学びや経験など皆が平等に何事にもチャレンジでき、楽しく通える環境ならば問題なし。 ・ 合併後に移住したため地域に対する意識が低い。しかし、地域の中心には学校があるのは事実であり、郷土に対する思いと学校はきり離せないと思う。適正配置を実施した場合には、適正配置後の通学範囲が新たな地域と思えるような取り組みを行なってほしい。 ・ 今も駐車場や道路が狭く交通事故などが起きそうなので、駐車場や道路の整備などを進めてから考えてから話を進めてほしい。 ・ 通学をきちんとサポートできる体制があるかどうかで状況は変わってくると思う。 ・ 適正規模だの適正人数だの、何をもって適正と言ってるのかわからないし、人数だけ見て決めないで欲しいと思う。ただ、一桁人数の学校は統合が必要とも思う。 ・ 子どもが減少している中、統廃合は仕方ないと思うが、子どもたちの登下校の負担、保護者負担もしっかり考慮してほしい。

◆問10：今回お示したモデルのうち、あなたの考えに近いものはどれですか。【1つを選択】 ※問4で1、2又は5を回答した者

①小学校

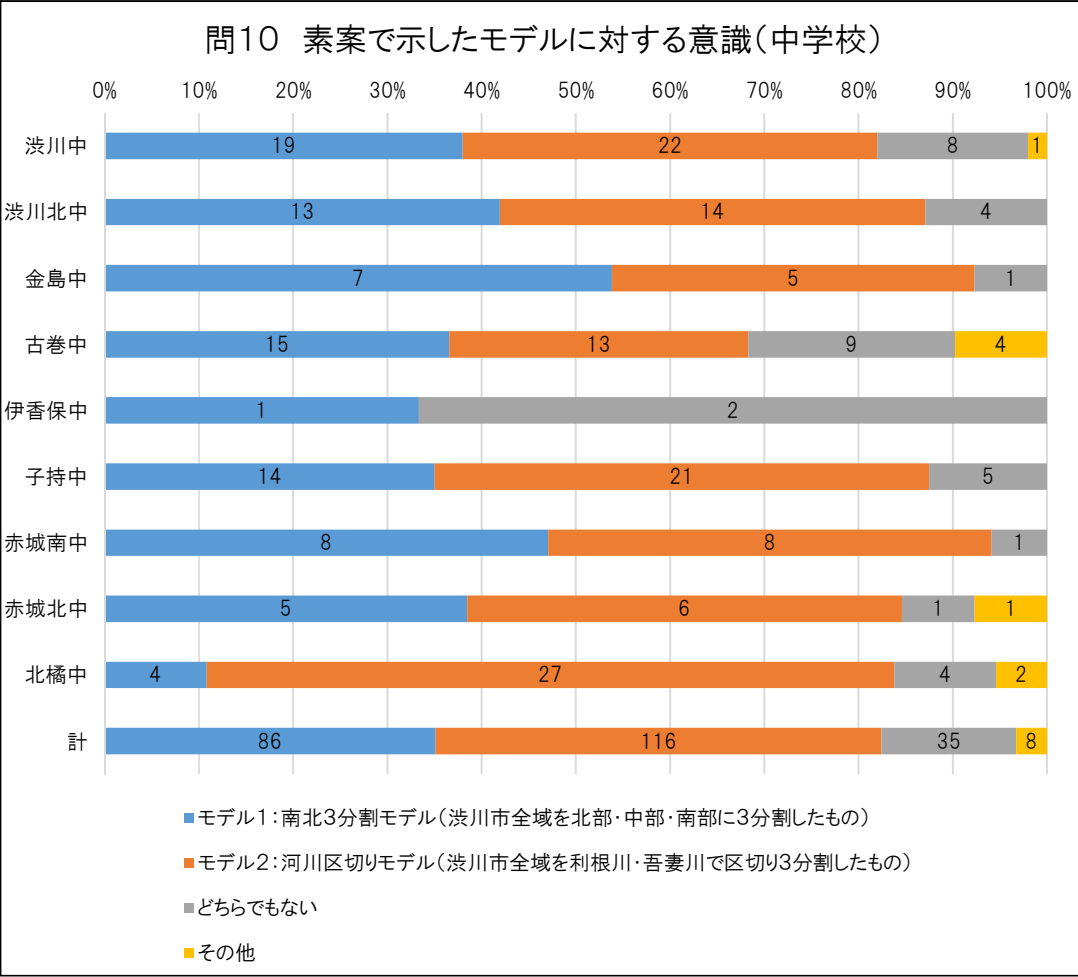
区分	渋川北小	渋川南小	金島小	古巻小	豊秋小	渋川西小	伊香保小	小野上小	中郷小	長尾小	三原田小	津久田小	橘小	橘北小	その他	計
モデル1：南北3分割モデル(渋川市全域を北部・中部・南部に3分割したもの)	19	9	15	48	26	8	3		9	18	12	15	9	3		194
モデル2：河川区切りモデル(渋川市全域を利根川・吾妻川で区切り3分割したもの)	20	6	10	31	25	9	2	1	15	22	28	12	22	14		217
どちらでもない	8	9	3	9	9	5	1		5	1	1	2	2	2		57
その他	1	1	2	3	4				1	1	3	4	2	2		24
計	48	25	30	91	64	22	6	1	30	42	44	33	35	21		492



◆問10：今回お示したモデルのうち、あなたの考えに近いものはどれですか。【1つを選択】 ※問4で1、2又は5を回答した者

②中学校

区分	渋川中	渋川北中	金島中	古巻中	伊香保中	子持中	赤城南中	赤城北中	北橋中	その他	計
モデル1:南北3分割モデル(渋川市全域を北部・中部・南部に3分割したもの)	19	13	7	15	1	14	8	5	4		86
モデル2:河川区切りモデル(渋川市全域を利根川・吾妻川で区切り3分割したもの)	22	14	5	13		21	8	6	27		116
どちらでもない	8	4	1	9	2	5	1	1	4		35
その他	1			4				1	2		8
計	50	31	13	41	3	40	17	13	37		245



◆問 1 1 : 問 1 0 で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

選択肢	主な理由
モデル1:南北3分割モデル(渋川市全域を北部・中部・南部に3分割したもの)	・ 通学時間や通学手段を考えるのであればモデル1だと思う。 ・ 河川で区切ると、結局小規模校が生まれてしまう。子どもたちの毎日の生活には、複数学級あるような適正人数での教育がいいと思うので、適正人数が保たれる可能性のある案を希望する。 ・ 適正規模を長く維持できる可能性が高いため。モデル1ならば、将来的にまた適正配置を行う可能性が低いので、何度も適正配置を行う必要がなくて良いと思う。 ・ 距離や通学時間を短くする事が最優先すべき事だと思う。他の市町村では上記のために、隣の町への通学も検討されていたりする。反面、経路の関係でバスに揺られて片道1時間以上かかっている町もあるが、正直可哀想に思う。 ・ 渋川市全体を一律に考えるのではなく、北部・中部・南部など、それぞれの地域の実情を踏まえて学校の配置を考える方がよいと思う。学校の統合を検討する場合でも、児童生徒数だけではなく、通学距離や安全性、現在の通学環境、地域とのつながりなどを考慮し、できる限り身近な地域で教育を受けられる環境を残すことが望ましいと考える。 ・ 河川区切りモデルの方が、統廃合に伴う心理的抵抗は少ないが、長期的には人口減少が更に進むことから、南北3分割モデルでやむを得ないと思う。 ・ 北橋から古巻に、赤城や小野上から子持に来るのは相当大変だと思うが、モデル1の方が人数のバランスが良くていいと思う。 ・ 旧渋川市という壁を無くしていく方が、より渋川市の発展と一体感を強くするのでは無いかと考えている。 ・ 人数的に。河川区切りでは生徒数の偏りが出ると思う。 ・ 長期的に見て持続可能性が確保されており、また、通学の利便性がある程度考慮されている。 ・ もっと思いきった統合案を示すべきだとは思うが、先細りすることが分かりきった河川区切りモデルよりはよいと思う。
モデル2:河川区切りモデル(渋川市全域を利根川・吾妻川で区切り3分割したもの)	・ この数十年に渡って統廃合の話が出ているものの一向に実行されないもので、少しでも早く統廃合して欲しい。恐らく地域住民の反対の声があるのが大きな理由だと感じている。そのため、モデル2の方が地域住民の賛成が得やすいと思ったから。恐らく自分たちの生まれ育った地域に学校がなくなることにならず不安を考える住民は多いはず。モデル1の方が先を考えて理想的であるのは理解できるが、一回の統廃合で済ませるのではなく、二回などに分けて統廃合を考えていくことで住民らの統廃合に対する抵抗も薄れていくと思う。 ・ 学校規模の適正化を進めながらも、できるだけ現在の生活圏や地域のつながりを維持できる案だと感じた。学校は児童生徒数だけでなく、通学距離や通学時間、安全性、地域との関わりも重要だと思う。利根川や吾妻川を越えて通学する形になると、距離が長くなったり、交通状況によって負担が増えたりする可能性がある。その点、河川を境にした再編であれば、地理的にも分かりやすく、従来の地域のまとまりをある程度残しやすいと感じる。 ・ 適正規模を維持する(将来的な児童生徒数を各学校に分配する)ことは大事だが、地域と共にある学校の特色や地域性を踏まえた教育のあり方はさらに大事だと思う。南北モデルでは赤城や北橋の小学生が地域との縁が遠い渋川中、子持中、古巻中に分割されて通うことになる。小1の子が学校に通うことを考えると、学校付近を歩いたことがない学校に通うことになったり、幼稚園や保育園との繋がりが薄れてしまったりするように思う。 ・ 赤城、北橋であれば同じ元勢多郡で親近感もあり、歴史や文化も近いのではないかなと思う。自然な形に近い感じで一緒になれるのではないかな。JAも合併しており、お互いの地域の住民の方達も受け入れやすいと思う。 ・ 橋を渡るとはその地域から離れることになりより遠方に感じる。また同じ小学校の友人と一緒に中学校に行けないことで不安を感じる子供も多いのではないかな。通学距離は遠くなるがそれはスクールバスで対応できるだろう。 ・ 災害時等、河川を挟むことで、学校と家の行き来ができなくなる可能性が高まることを考えると、モデル2の方が安全であるかと思う。

◆問 1 1 : 問 1 0 で回答した主な理由を教えてください。【回答を記述】（要約・抜粋）

選択肢	主な理由
どちらでもない	• 学校の適正規模・適正配置ありきなのかが疑問である。各中学校を基準に、小規模校区では義務教育学校として地域に学校を残す。 • 通学時間(スクールバス)や校舎教室の関係、学校備品や教職員の関係から生徒数が少ない学校を直ぐにまとめるのではなく、段階的に統合していくのが良いのではないか。また、既存の学校で生徒数が十分な学校は、学習の観点から今回の論点からは除外するべきだと思う • マンモス校になったら子供を通わせることに不安がある。小規模校に通う子供達が環境の変化に対応できるか心配。 • どちらも大切だが小学生のうちとにかく通学に心配がなく安全に通える所へ、中学生で河川を越える等も考えた学校配置が皆さんも納得がいきやすい感じもするし、中学校で小学校の時と違う他の学校の人の関わりを持つ経験も非常に大切なことだと思う。 • 現在の渋川市における教育のあり方に疑問を感じる人が多い。数合わせで適正規模、配置を行なっても、内容的に良い教育環境変わるわけではない。学校のあり方、教育のありかたそのものから見直して、その上で新たな教育の場を作り上げる努力を重ねて頂きたい。 • 合併20年経過しているにも関わらず旧市町村区ベースで色々を考えてるのがおかしい。一度ぶっ壊して学区の再編をするのが望ましい。 • どちらのモデルならどのような将来のまちづくりが考えられるかを提案してもらいたい。 • 通学範囲が広過ぎて通学時間が長くなってしまいう児童、生徒が多く出るためそのためどう通学出来るのかを考えるべき。児童ならスクールバスを出す、生徒なら自転車通学を認めるなど。 • どちらも小学生から遠距離通学する子供が出て来ってしまう。無理矢理500～600人を集める必要があるのか疑問。もっと細かく分けて欲しい。 • 子供がしっかりと学習でき、毎日楽しく通学出来るのであれば、どんな分割のやり方でも構わない。 • どちらかと言えば南北3分割だが、まだ色々が不明確であり、疑問点もあり、またそもそも統廃合に現在賛成はしていない。
その他	• どちらも、メリットデメリットがあるので、正直どちらにした方がいいのかはわからない。どこの学校になってもバス通学は確定なので出来ればバスの乗車時間が少なく済む事を願いたい。赤城が分裂してしまうのはさみしいが、どちらかという、自宅からだ北橋になるのは遠いので子持のほうがいいのかと思う。 • 橋地区が、小学校が一緒に中学から別れるのは可哀想。橋北は人数が少ないので、仲間が少ない中で、いきなり大規模な中学校へ行くのはギャップがありすぎて不登校へ繋がる危険性もある。また、橋北小学区でも、橋小や三原田小近くに家があたりする児童もいる。その子達が三原田小学区の生徒や橋小学区の生徒と違う学校へ行くのは違和感がある。(小学校が一緒になるのに) • 現状は学校をどう分けるかよりも、統廃合後にそれぞれの地域で通学バスなどの移動手段が十分な形であるのかが気になっている。どうやって登下校するのかは一番重要だと思うし、通うことになる学校から遠い所に住んでいる場合でも、毎日親や祖父母が送迎するのは非現実的である。今現在も通学バスの規定が厳しく、市の対応は柔軟さに欠けていると感じていますが、統廃合後も同じことが繰り返されるのであれば、共働き家庭が多い中で子供の通学自体が生活に支障をきたす原因になりかねない。 • 通学時間がかかることで子供や家族の負担が大き過ぎる。また学童の収容人数の問題があると思う。モデル1は赤城と北橋の中学生は遠すぎて大変。小学校に関しては市内は北小と豊秋小がベストで金島小は立地や交通の便など考えてあり得ないと思う。モデル2は、市内の小学校は上記と同様金島小はあり得ないと思う。市内の中学校は2校だと通学時間、範囲が広すぎなので北中、渋中、古巻中の3校がいいのではないかなと思う • モデル1と2、両方とも納得できる形なので、選ぶことが難しい。保育園からしたら、そのままスライドした形を残してもらえると安心さは大きいと思うが、将来の人口などのことを考えると、そればかり言っではいけないのかなと思う。 • 一旦地域、その後河川の段階的な統合が望ましい。一気にまとめるとなると費用や場所の確保はどうなるのか不安

◆問12：その他、小中学校の適正規模・適正配置について、ご意見やご要望があれば、ご記入ください。【回答を記述】（要約・抜粋）

分類	主な理由
適正規模に関すること	- 大人の声は大切だが、当事者は子どもたち。あまりに人数が少なく部活動もままならない状況であったり、クラス替えもないのは貴重な体験を奪っているとも言える。早急な統廃合をお願いしたい。 - 赤城北中に進学するはずの子が別の中学に進学するケースが多くなり、人数がさらに少なくなっている。中学1年は、高原学校で宿泊を人数が少ないからと断られ登山になったと聞いている。泊まりだからワクワクして楽しいのにただの山登りではつまらなかったと思う。既に学校行事に支障をきたしているの、早急に合併した方がいいと思う。何年か様子を見る時間は無いと思う。 - 小規模特認校のメリットを感じて、長尾小学区から小野上小に通っている。長尾小規模でも多いし辛いと感じたからである。毎日送迎が必要でも、少人数がいいと思うて通っている。 - 適正規模はどう決めたのか。今の子ども達は複雑な家庭環境、特性等を抱えている。それにもっと目を向けた学校作りが必要なのに、ただ利便性だけで統廃合しようとするのは違うと思う。もっと子ども達一人一人を中長期的に見て素案を作って欲しい。 - 学校は児童のために存在しているのであり、地域活性が主目的ではない。超小規模学校は子どもの教育環境として適切ではないので、できるだけ速やかに小野上小学校の長尾小学校への統合を先行して実施して欲しい。 - 感受性豊かな子供たちにとって、多くのお友達、先生たちとともに学びあうことは、様々の考えに触れ合うことができ、現代の多様性の時代を生き抜く子供たちに不可欠である。いろいろな考えを持つ友人たちと切磋琢磨することで、子供は成長していく。 - 中学校は各学年、複数クラスになるように速やかに見直しを図って欲しいが、統合により学校へ通い難くなり、不登校生徒が増える可能性のあることも考え、メンタルヘルス、発達障害、等に対応できる専門家を各学校に常時配置して欲しい。
通学に関すること	- 統合後に通学距離が伸びるエリアがあるのが心配。低学年の足で片道30分以上かかるのはだいたい負担。また河川をはさむことによる川の事故のリスクは高い。 - 学校まで距離がある地域にはスクールバスなどの利用ができるよう考えて欲しい(遠いことが理由の親の負担や経済的な負担が増えることがないようにして欲しい)。統合することで、教室や設備が不足するなど子どもが不便な思いをしないようにして欲しい。 - 統廃合を進める場合は、方針決定から実施まで十分な準備期間を設け、対象となる学校や時期、通学方法などをできるだけ早い段階で示して欲しい。特にスクールバスについては、登下校だけでなく、部活動や放課後の活動終了後の帰宅手段まで含めて検討して欲しい。 - 共働きが当たり前の時代、学校と住宅の位置は重要になってくる。私自身も、フルタイムで仕事をしており、子供の通学路などを考えて家を建てた。渋川市の将来の人口にも関わってくることだと思うので、慎重に決めてもらいたい。 - 適正配置で学校統合するなら同時に登下校時にスクールバスを毎日運行しないと通学は難しい。親が毎日送り迎えするのは現実的ではないし、相当な距離を歩いて登下校させるのは危険であり得ない話。 - 多くの子供たちが、家から学校までの距離が広がるが、スクールバスの拡大や共働き家庭も多いので、通学時間の柔軟な対応も考えて欲しい。幼稚園・保育園のように保護者の車で送迎を可能にもらえる、通学時のリスクが減るのではないかな。 - 子どもが通学しやすいように。学区内で徒歩で通学できる範囲内で家を建てたのに、別の学区までいかないとならないなら、まずは安全に登下校できる交通整備をまず最初にするべき。スクールバスや公共バスの導入などを作るなど。保護者の送迎は仕事をしているので、毎日不可。 - 中学生になれば統合して多少遠くの学校に通うことになっても良いと思うが、小学生に関しては防犯上の問題や、バスに置き去り問題もあったので、慎重に考えて欲しい。

◆問 1 2 : その他、小中学校の適正規模・適正配置について、ご意見やご要望があれば、ご記入ください。【回答を記述】（要約・抜粋）

分類	主な理由
地域・配置に関すること	- 小学、中学の保護者だけでなく、未就学児の家庭にも今回のお知らせをする必要があるのではないか。統合に直接関係してくるのは、今の未就学児であるし、家を建てることを考えているご家庭は、学校の近くに建てようとする方も少なくない。早めに統合の可能性があることとお知らせして欲しい。 - 地域から小中学がなくなる事は、さらなる過疎化・高齢化を招きかねない。統合するしかないなら仕方ないが、地域での子育て支援や環境整備にも取り組み、地域への移住者を増やすよう取り組んで欲しい。地域バスを充実させるなど、交通面も整えて欲しい。 - 北小が使えない理由が借地の問題のみならば、北中が渋中へ統合された後、改装した北中を使えばいいと思う。住民が多い北小地区から、金島地区へ通うのは多くの人の負担が大きく、バスの費用もかなりかかると思う。 - 学校の適正規模・適正配置も持続可能なものでなければならぬと考える。統廃合すれば、その時は適正規模・適正配置は実現できますが、それと同時にその学校区内に居住する人の維持あるいは増加させる施策、文化教養施設の移転・新設、インフラの整備など教育部だけでなく、渋川市の施策として進めていく覚悟がなければならぬと思います。 - 赤城は赤城地区の中で、北橋は北橋地区の中での統廃合ということで実施して欲しい。 - 地域だけのことを考えれば、それぞれの地域に学校を残したいといった意見も理解できるが、今回の趣旨は未来ある子どもたちの学びをどうしていくかということが焦点だと思う。小規模学校の良さもちろんあると思うが、保護者が本当にそれを望んでいるのか。 - 将来的に小学校がなくなる地域は他方へ住民流出して街の活気がなくなる懸念がある。市内にバランスよく分散するのが望ましいと思う。 - 適正配置の結果、地域の魅力が低下して人口減少や偏りが生まれないか心配である。通学バスや放課後学童保育の体制強化等や移住支援によって、市の魅力化に繋げて欲しい。
情報公開や検討の進め方に関すること	- 統廃合後の、我が子の通学すべき学校が何処になるのか明記されていないこと、また通学方法についても明記されていないこと。これにより、賛否の判断をしかねる。 - 市として適正規模、適正配置について決定後、学校ごとに説明会をするのではなく、これほど大規模な変容があるのであれば「すぐー」による配信だけでなく、対象となる学年の保護者へはYouTube上での説明会などであると助かる。 - 現在、児童生徒数の減少などを踏まえ、学校の統合や再編について検討が進められていることは理解している。ただし、将来の児童生徒数の推計だけを根拠として、現在の学校を早急に統合することには慎重であるべきだと考える。統合によって得られるメリットだけではなく、学校がなくなることによる通学距離や安全面への影響、地域とのつながりが失われることなどについても十分に検討して欲しい。 - 偏った意見(予算、特定の人物)ではなく、広く意見を募ったうえでメリット、デメリットを精査することが重要。地域、当事者、保護者など立場による意見集約など。 - 統廃合を行なう上で、その後の運営指針が明確されていないのに意見を求めるそれ以前の問題ではないかと思う。まず統廃合による変化を明確化して欲しい。 - 渋川市内中心部での説明会まだ開催されていない中でのアンケートなので現実味帯びていない。学校単位の説明会を求める。 - この問題はいま子供がいない世代や、妊娠中などの世帯が1番関係のある話なので、そのような方からの意見が一番必要だと思う。 - 子供たち、保護者たちの心を配慮し慎重に進めて欲しい。今年に入り、〇〇中学はなくなるから好きな学校に通えるようになるとデマが流れてきて入学前だった事もありとても不安な気持ちになった。特に小学生から中学生になる子は思春期でデリケートである。中途半端な情報が中途半端に流出しないようにして欲しい。 - 子供が所持中学なので、このまま変更なく卒業だと思うと現実として考えられない。保育園、幼稚園の保護者にアンケートをとるべき。 - 教員、子ども、地域住民など、学校に毎日直接関係ある人たちにとっての適正規模、適正配置を考えてほしい。国や行政の管理のしやすさだけでは見誤ると思う。 - 子供達の心身のケアをしっかりと考慮して欲しい。

◆問１２：その他、小中学校の適正規模・適正配置について、ご意見やご要望があれば、ご記入ください。【回答を記述】（要約・抜粋）

分類	主な理由
その他	・ しっかりとした交通機関があれば、配置に困らないのではないかと考える。ただし、公共機関でなく民間だと最近ニュースにもなっているので、運転手の配慮も必要かと思われる。 ・ 現状を考えると適正規模にして行くという考えは仕方ないと思うが、統廃合がきっかけで子供達が学校に行きづらくなったりしないように、子供達の立場になって進めてほしい。同じ渋川市の住民であっても、それぞれの地域があり、ルーツが違うので考え方、感覚的な物が違うと思うので、効率やコスト優先ではなく、あくまで子供達を最優先でお願いしたい。 ・ 児童生徒の学ぶ場の環境を整えることが必須だと思う。多様化する家庭にも対応できるような新たな取り組み(藤岡市の学びの多様化学校のような)など、地域の特色としてより子ども達や親御さんにとって、住み心地、学びやすい地域で安心して過ごせる渋川市になって欲しい。 ・ 子供が減っていて学校ごとの子供の人数が減り、統合した方が市としても節約になるだろうが、まず『なぜ子供が減っているのか』を、考えるべきだと思う。 ・ 今後の学校のあり方を検討することはとても大変なことだと思う。それぞれの人に価値観や意見が違い集約することは容易な事ではないと思う。子ども達が大人になった時にこの地域で成長する事ができて良かった、愛着を持ち、誇りに思えるような学校生活を送れたらと思う。 ・ 多少強引にでも進めて欲しい。 ・ 将来の生徒数よりも、少子化だからこそ生徒一人一人に向き合える教育を展開することも考えてほしい。 ・ 渋川市の財政も大事だが、子供の教育しての事に関しては子供第一で考えて欲しい。 ・ 学校区にとらわれずに子供が行きたい学校が選べるとよい。いじめや不登校などにより、学校区外の小中学校に進学を希望する子供もいると思う。学校区以外を希望する場合は、受験が必要な公立や私立の中高一貫校やごく一部の公立中学校のみしか選択肢がない。いじめや不登校で悩む子供は、中学受験して合格するか、家から遠い一部の公立中学校しか逃げ場がないのが現状である。 ・ 学校を維持管理する費用を削るための合理的な統廃合ではなく、子供達が渋川市に住み続けたいと思えるような方向になることを期待したい。子供達の居場所を無くさず、子供達の教育に投資してもらいたい。